

出会いを育てよう

小澤 勇



幼稚園で、猫の顔とチューリップをよく描いたことを思い出す。線だけのチューリップの花は、その時により黄や赤色だった。そして鉢植えである。童謡からでは鉢植えにならないと思う。その頃チューリップはなかった。すると絵本がきっかけになったと思う。

緑や赤白黄色はまわりにみえる色である。緑が伸び重なり、形として組み立てられ、チューリップやヒマワリになるだろうと思う。

その時、白に近い透明なキャンパスに描いたり、消したりを繰り返し、1本、2本と消し忘れて残ったかもしれないが、残像として描かれていくのだろう。その描かれたものは情緒として芽生えるものと思う。視覚のみならず聴覚も加われば、一層豊かなものに発達するだろう。幼稚園でみんなと、そして先生やお母さんと交わり、水をやって育てて、身近な友達になり、やがてサボテン小僧に成長し、また新たな出会いがおとずれるであろう。

豊かな情緒を形成するきっかけ作りに、抱き上げ、手を引き、指先のヒマワリや、めくる絵本に、出会いが見出されるかもしれない。ふだんのありふれた動作の中で、幼児と同じ目線で、共通のしぐさや言葉で、「心はかけても手をかけない」お付き合いをしたい。それを通して、緑や花が、明るく、きれいな、楽しさを感じ、そして喜びになり、小さな幸をつかめることだろう。さらに成長と共に拡大されていけば物語が生まれてくることだろう。

在りし日、藤井健雄先生がデンドロビウムの驚娘を片手に、夢は幼稚園の園長をやりたいことと言われた。その時は深く感じなかったが、感受性の高い頃に夢との出会いを育てることも含んでおられるかもしれないと感じている。次の世代に夢を届ける出会いの一助ができれば願っている。

この続きは次の2編でどうぞ。

- ・花葉No.19「21世紀の花の国づくりは幼稚園から始めよう」(鈴木司)
- ・花葉No.24「園芸をテーマとした絵本を探る」(山田幸子)

花葉

2006
NO.25

目次

禁無断転載

私の提案 出会いを育てよう.....	小澤 勇 (1)
最新科学情報 1 A P G 2003による被子植物の分類.....	長岡 求 (2)
2 最近の植物系統分類学の研究手法.....	國分 尚 (8)
表紙解説 メキシコの花 キバナコスモス.....	横井 政人 (11)
アジアで初めての世界バラ会議.....	上田 善弘 (12)
特別寄稿 岩佐吉純氏 追悼	
岩佐大兄に捧ぐ「思いで話」.....	小笠原 亮 (15)
岩佐さんのマウイへの温情に感謝.....	武田 和男 (18)
岩佐吉純先輩の思い出.....	横井 政人 (20)
思い出すままに.....	村井 千里 (22)
岩佐さんのこと.....	田中 桃三 (23)
坂田種苗株式会社の岩佐元専務取締役との思い出.....	市川 裕 (24)
ダリアを愛した岩佐吉純さんを偲んで.....	山口 まり (26)
回想記.....	岩佐 昌子 (28)
本物の花の産業人・文化人：岩佐吉純氏をしのぶ.....	安藤 敏夫 (29)
自叙伝抜粋 思い出.....	横井 政人 (30)
特別寄稿 植村猶行氏 追悼	
故 植村猶行様.....	横井 政人 (36)
永遠の友植村猶行君の思い出.....	林 角郎 (37)
趣味園芸の礎『ガーデンライフ』を創刊.....	宮田 増美 (38)
我が校の園芸療法の取り組みと岐阜県の取り組み 県内の事例紹介.....	後藤美佳子 (42)
エチオピアでの2年間を終えて.....	登坂 哲也 (46)
新規就農実践記.....	公田 博三 (50)
2006 花葉サマーセミナーレポート どうする！日本の花産業.....	久保田芳久 (53)
花葉会総会 (56)	花葉会会則・役員名簿 (58)
花葉会賞受賞者紹介 (59)	記念講演・世界に羽ばたく日本のキク (60)
会員名簿の追加と訂正 (62)	